

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ドラムサークル	高	音楽 3年Iグループ (音楽)	猿渡 和人

ドラムサークルとは、打楽器を使った即興演奏のこと。輪になって打楽器その他の楽器の演奏を楽しむ。ドラムサークルのポイントは、「練習して人前でパフォーマンスする」ことではなく、「練習せずにその場で全員が演奏する」こと。また、「間違い失敗」がないことも、ドラムサークルの特徴である。

<ねらい>

- ・様々な打楽器の奏法を知る。
- ・みんなとリズムを合わせることを楽しむ。

<内容>

授業では、楽器の紹介をして、名前や奏法を知ってもらい、それぞれ自分の好きな楽器を使って打楽器合奏を楽しんだ。

<良かった点・改善点>

ほとんどの生徒が、いろいろな打楽器に興味津々で、意欲的に取り組むことができた。楽器を触ったり鳴らすのが苦手な生徒もいたが、好きなリズムを自由に鳴らしたり、間違えても大丈夫という雰囲気をつくったりすることで、全員が楽器や全体の演奏のリズムの楽しさに親しむことができた。ボンゴやコンガ等の大きい楽器が人気があるが、台数が限られてしまうため、交代で使用した。大人数のクラスでは、楽器の数を確保する必要がある。

<使用教材（楽器）>

ボンゴ



コンガ



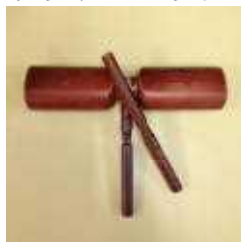
サウンドシェイプ



カウベル



ウッドブロック



フルーツシェイカー

